

出雲市肝炎ウイルス検診 問診票

1. これまで、 <u>出雲市</u> の肝炎ウイルス検診を受けたことがありますか	はい ・ いいえ
<p><u>「はい」の方は検診対象外です</u> ←</p> <p>出雲市が助成する肝炎ウイルス検診は、生涯に1回です。 ただし、今年度の特定健康診査において、ALT（GPT）値により要指導と判定された方（＝要指導者検診）は、対象となります。</p> <p style="text-align: right;">↓</p> <p style="text-align: right;">2～11を記入ください</p>	
2. これまで、B型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
3. 現在または過去に、B型肝炎の治療を受けていますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
4. これまで、C型肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
5. 現在または過去に、C型肝炎の治療を受けていますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
6. ご家族で肝臓の病気で通院した方はいますか	はい（誰が ） （病名 ） いいえ ・ わからない
7. 手術を受けたことがありますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
8. 輸血を受けたことや血液製剤を使用したことがありますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
9. 【女性のみ】妊娠・分娩時に多量に出血したことがありますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
10. 肝臓病にかかったことや肝機能が悪いと言われたことがありますか	はい（ 歳頃） いいえ ・ わからない
11. 署名欄 ※検査を希望する場合は、必ず署名願います。（ <u>B型・C型とも検査する場合は、2か所署名</u> ） ・ B型肝炎ウイルス検査を希望する。 氏名（自書） _____ ・ C型肝炎ウイルス検査を希望する。 氏名（自書） _____	

..... この検診は、出雲市健康増進事業により実施しています。

以下のことをご承知のうえ受診くださいますようお願いいたします。

- ・ 検診結果は、出雲市に報告されます。
- ・ 検診の結果、精密検査が必要となった場合は、肝炎専門機関において必ず精密検査を受けましょう。該当の方で、精密検査未受診の場合は、出雲市から受診状況をおたずねする場合があります。
- ・ 精密検査の結果は、検診を受けた医療機関及び出雲市に報告されます。
- ・ 個人情報については、本事業の目的以外への使用はいたしません。

<肝炎ウイルス検診を受診される方へ> 必ずお読みください

(肝炎とは)

- 肝臓が炎症を起こし、肝臓の細胞が壊れて働きが悪くなる病気を肝炎といいます。
- 肝炎の原因の大半はウイルスによるものです。B型肝炎ウイルス（HBV）とC型肝炎ウイルス（HCV）が代表的です。
- C型肝炎については、平成4年(1992)以前に輸血や臓器移植手術を受けたことがある方は、当時はC型肝炎に感染している血液か否かを高感度で検査する方法がなかったことから、C型肝炎に感染している可能性が高くなっています。

(検査の目的)

- B型・C型肝炎ウイルスに感染しているかどうかを調べるためのものです。

(方法)

- 血液検査です。採血して検査することで、B型肝炎ウイルスやC型肝炎ウイルスの抗体を調べ、感染しているかどうかを判定します。
- C型肝炎ウイルス抗体検査の結果、はっきりした結果が得られない場合、遺伝子レベルの詳しい検査を行うことがありますのでご了承ください。(次項2.(2)参照)

(検査内容)

1. B型肝炎ウイルス検査

(1) HBs抗原検査

B型肝炎ウイルスが血液中にあるかどうかを調べます。この検査で陽性の場合、現在B型肝炎ウイルスが体内にいる（感染している）状態です。

2. C型肝炎ウイルス検査

(1) HCV抗体検査

C型肝炎ウイルスに対する抗体が血液中にあるかどうかを調べます。この検査で陽性の場合、現在C型肝炎ウイルスが体内にいる（感染している）状態、または過去にC型肝炎ウイルスに感染したが既に治癒した状態、のいずれかです。

(2) HCV-RNA検査（HCV核酸増幅検査）

C型肝炎ウイルスの遺伝子を調べる検査です。最終的に陽性か陰性かを確定させるために行います。
※必要な方のみ検査をします。

※HCV-RNA検査を実施するために、再度血液を採取させていただくことはありません。

(検査の結果、感染していないことがわかったら)

- 健康管理のために、検査日と検査結果を健康手帳などに控えておきましょう。

(検査の結果、肝炎ウイルスに感染していたら)

- 肝炎専門医療機関で必ず精密検査を受けましょう。「自覚症状がない」などの理由で肝炎を放置しておくと、肝臓の炎症が続き、肝硬変や肝臓がんに行進するリスクが高まります。検査の結果が陽性でも、すぐに治療が必要な状態にあるとは限りません。まずは肝炎専門医に相談し、肝臓の状態を確認して、適切な時期に適切な治療が受けられるようにしましょう。